

#### PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 06178198 A

(43) Date of publication of application: 24 . 06 . 94

(51) Int. CI

H04N 5/243 H01L 27/14 H04N 1/028 // H04N 5/335

(21) Application number: 04325124

(22) Date of filing: 04 . 12 . 92

(71) Applicant:

**NEC CORP** 

(72) Inventor:

**MURAKAMI SHINICHI** 

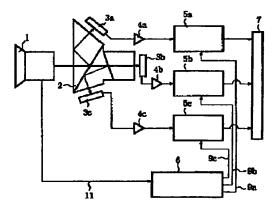
#### (54) SOLID STATE IMAGE PICKUP DEVICE

#### (57) Abstract:

PURPOSE: To correct the change of the sensitivity of a solid state image pickup element due to the stop value of a camera lens.

CONSTITUTION: Data to correct the change of the sensitivities of the solid state image pickup elements 3a, 3b, 3c to the stop value of the camera lens is recorded previously in a storage device 6, and gain control amplifiers 5a, 5b, 5c are adjusted by sensitivity correction data 9a, 9b, 9c corresponding to the data 11 of the stop value to be outputted as being linked with the stop value of the camera lens 1. Then, by correcting the sensitivities of the solid state image pickup elements 3a, 3b, 3c, a picture free from a picture defect such as color irregularity and shading, etc., can be obtained.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio



### (19)日本国特許庁(JP)

# (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

# 特開平6-178198

(43)公開日 平成6年(1994)6月24日

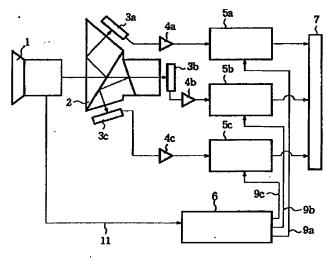
(51)Int.Cl. <sup>5</sup> H 0 4 N 5/243 H 0 1 L 27/14	識別記号	庁内整理番号	FΙ		技術表示箇所
H 0 4 N 1/028		8721-5C			
// H 0 4 N 5/335	V				
		7210-4M	H 0 1 L	27/ 14	D
				審査請求 未請求	請求項の数3(全 6 頁)
(21)出願番号	特顯平4-325124		(71)出願人	000004237 日本電気株式会	社
(22)出顧日	平成 4 年(1992)12月	4日		東京都港区芝五	丁目7番1号
			(72)発明者	村上 真一	
				東京都港区芝五	丁目7番1号日本電気株式
				会社内	
			(74)代理人	弁理士 京本	直樹 (外2名)

#### (54) 【発明の名称 】 固体撮像装置

#### (57)【要約】

【目的】カメラレンズの絞り値による固体撮像素子の感 度の変化を補正する。

【構成】記憶装置6に固体撮像素子3a,3b,3cの感度のカメラレンズの絞り値に対する変化を補正するデータを記録しておき、カメラレンズ1の絞り値に連動して出力される絞り値のデータ11に対応する感度補正データ9a,9b,9cによって、ゲインコントロールアンプ5a,5b,5cを調節して、固体撮像素子3a,3b,3cの感度を補正することにより色むら、シェーディング等の画像欠点のない画像を得ることができる。



1:カメラレンズ 2:色分解用プリズム 3a,3b,3c:固体操像素子 4a,4b,4c:パッファンプ 5a,5b,5c:ゲインコントロールアンプ 6:配馈接置 7:プロセス回路およびエンコーダ回路 9a,9b,9c:袖正データ信号 11:絞り値データ

10

#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の固体撮像素子を用いて1画像を構 成する固体撮像装置において、前記複数の固体撮像素子 の他、ゲインコントロールアンプ、記憶装置および絞り 値データを出力可能なカメラレンズを有し、前記記憶装 置に記録した前記カメラレンズの絞り値データに対応し た前記複数の固体撮像素子のそれぞれの感度の変化率に よって、前記カメラレンズの絞り値に連動して前記ゲイ ンコントロールアンプを調節し、前記固体撮像素子の感 度を補正することを特徴とする固体撮像装置。

【請求項2】 前記固体撮像素子の画素毎に前記カメラ レンズの絞り値に連動した感度補正を行うことを特徴と する請求項1記載の固体撮像装置。

【請求項3】 前記固体撮像素子の画面をm×n (m, nは1より大きい自然数) に分割し、各分割領域毎に前 記カメラレンズの絞り値に連動した感度補正を行うこと を特徴とする請求項1記載の固体撮像装置。

#### 【発明の詳細な説明】

#### [0001]

【産業上の利用分野】本発明は固体撮像装置に関し、特 20 にオンチップマイクロレンズを積層した固体撮像素子を 用いた3板式カラー固体撮像装置に関する。

#### [0002]

【従来の技術】一般的な3板式カラー固体撮像装置、た とえば赤色用、緑色用、青色用の3つの固体撮像素子を 備えたカメラのブロック図を図5に示す。カメラレンズ 1を通過した光は色分解用プリズム2によって赤色光、 緑色光, 青色光に分解され、固体撮像素子3a, 3b, 3 cに入射する。この固体撮像素子3a, 3b, 3cは 駆動回路(図示せず)によって駆動され、その出力信号 はアンプ4a、4b、4cによって増幅された後、プロ セス回路およびエンコーダ回路7によって合成され、映 像信号として出力される。

【0003】このとき、画像欠陥を補正する場合、図9 に示したように、あらかじめ各デバイスの欠陥補正デー タを記憶装置6に記録しておき、アンプ4a, 4b, 4 cの出力をゲインコントロールアンプ5a,5b,5c で補正する方法がある。ここで、ゲインコントロールア ンプ5a, 5b, 5cの出力ゲインはカメラレンズの絞 り値によらず一定となっている。

#### [0004]

【発明が解決しようとする課題】最近の固体撮像素子 は、その感度向上のためチップ上の感光画素上にマイク ロレンズを備えている。図6 (a)~(d)に示すよう に、固体撮像素子に入射した光はマイクロレンズにより 屈折する。この屈折光はマイクロレンズへの入射光の入 射角が大きいほどフォトダイオード中心から離れた部分 に集光する((c), (d))。このため、カメラレン ズの絞り値を小さくする。すなわち絞りを広げてゆく

きくなる。したがって、固体撮像素子に入射する光量が カメラレンズの絞りに対して一定になるようにした場 合、カメラレンズの絞りを広げてゆくと感度が減少して しまう。

【0005】前述した固体撮像装置のように、各固体撮 像素子のアンプの増幅率が一定になっていると、図7の ように各固体撮像素子のカメラレンズの絞り値に対する 感度の変化率が異なる場合、カメラレンズの絞り値を変 えると各固体撮像素子の出力信号のレベルのバランスが くずれ、絞りに応じてホワイトバランスが変化し、画像 の色再現性が劣化するという問題がある。図7におい て、縦軸はカメラレンズ絞りの基準をF8とした時の相 対感度であり、横軸はカメラレンズ絞り(焦点距離/絞 り開口直径)を示している。また、オンチップマイクロ レンズがフォトダイオード開口に対して位置ずれを生 じ、これが素子内でずれ具合が異なるとシェーディング となる。また、これが複数の固体撮像素子毎に異なるた め、絞り値に応じて色ムラが変化し、非常に見苦しい画 像になるといった欠点もある。

#### [0006]

【課題を解決するための手段】本発明の固体撮像装置 は、複数の固体撮像素子の他、ゲインコントロールアン プ、記憶装置および絞り値データを出力可能なカメラレ ンズを備えており、記憶装置に記録したカメラレンズの 絞り値データに対応した複数の固体撮像素子のそれぞれ の感度の変化率によって、カメラレンズの絞り値に連動 してゲインコントロールアンプを調節し固体撮像素子の 感度を補正することを特徴としている。

#### [0007]

40

【実施例】次に本発明について図面を参照して説明す る。図1は本発明の第1の実施例の固体撮像装置のブロ ック図である。カメラレンズ1を通過した光は、色分解 用プリズム2で赤色光,緑色光,青色光に分解された 後、固体撮像素子3a,3b,3cに入射する。固体撮 像素子3a,3b,3cは駆動回路(図示せず)によっ て駆動され、その出力はバッファアンプ4 a 、4 b 、4 cを通してゲインコントロールアンプ5a, 5b, 5c に入力される。

【0008】また、記憶装置6には固体撮像素子3a、 3b, 3cのそれぞれについて、カメラレンズの絞り値 に対応する感度値が記録されている。たとえば固体撮像 素子3aの感度がカメラレンズの絞り値に対して図8の ような変化をする場合、カメラレンズのある絞り値、た とえばF8のときの感度を基準とした相対感度を補正用 データとして記録しておき、カメラレンズ1 から出力さ れる絞り値データ11を入力することにより、その絞り 値に対応した補正用データ信号 9 a が出力される。この 補正用データ信号9aの逆数をバッファアンプ4aを経 て来た固体撮像素子3aの出力信号に乗算するようにし と、フォトダイオード開口端で遮られる光量の比較が大 50 てゲインコントロールアンプ5aを調節する。これによ

り、感度はカメラレンズ1の絞り値に依存せず一定となる。固体撮像素子3b,3cについても同様の補正を行い、感度のカメラレンズの絞り値に対する依存性を除去することにより、ゲインコントロールアンプ5a,5b,5cの出力信号のレベルのバランスが一定となり、カメラレンズの絞りを変えても色の再現性が劣化するような現像はなくなる。

【0009】図2は本発明の第2の実施例を示したブロ ック図である。記憶装置6には画面上の全画素について カメラレンズ1の絞り値に対応した感度補正用のデータ が記録されている。同期信号発生器10から出力される 各画素に同期したデータ補正用の同期信号13に同期し て各画素に対応した感度の補正データが選択される。た とえば、水平転送レジスタ駆動信号および垂直転送レジ スタ駆動信号のパルスの数をカウントすることにより、 現在映像出力されている画素の位置を確認させ、その補 正データによってゲインコントロールアンプ5a.5 b, 5 cを調節し、固体撮像素子3 a, 3 b, 3 cの感 度を補正する。これにより、オンチップマイクロレンズ のフォトダイオード開口に対する位置ずれのばらつき等 20 によって生じる各画素毎の感度むらを補正し、その結果 3個の固体撮像素子の合成信号における色むらや色シェ ーディングといった現象も解消できる。

【0010】図3(a)は本発明の第3の実施例を示したものであり、映像画面上に感度補正の代表点が配列されている。これは第2の実施例における記憶装置6の使用記憶容量を縮小させるものであり、この固体撮像装置の構成のブロック図は第2の実施例と同じく図2で示される。ここで記憶装置6は複数の感度補正の代表点の画素の算出するように演算機能を備えているものとする。

【0011】図3 (a) において、映像画面16上に感\*

$$V_A = (V_{22} - V_{21} - V_{32} + V_{31}) \cdot A_x \cdot A_y / X \cdot Y$$

30

となる。他の領域の場合についても同様に算出される。 感度補正の代表点の間隔が小さくなるほど、すなわち、 感度補正の代表点の数が多くなるほど感度補正の精度が 向上することになる。

#### [0013]

【発明の効果】以上説明したように本発明は、記憶装置に記録したカメラレンズの絞り値に対応した固体撮像素子の感度の変化率のデータによって、カメラレンズの絞 40り値に連動してゲインコントロールアンプを調節し、固体撮像素子の感度を補正することにより、複数の固体撮像素子を使用したシステムにおいてもカメラレンズの絞り値の変化によるホワイトバランスのずれ、色むら、シェーディング等の画像欠点のない画像を得ることができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施例のブロック図である。

【図2】本発明の第2の実施例のブロック図である。

【図3】本発明の第3の実施例を示し、(a)は映像画 50

\*度補正の代表点3-11~3-79が水平方向に9点、 垂直方向に7点等間隔に並んでいる。この各点について カメラレンズの絞り値に対応した補正データが図2の記 憶装置6に記録されている。記憶装置6には同期信号発 生器10から同期信号13が入力される。この同期信号 13は図4に示したような補正データ用水平同期信号1 7と補正データ用垂直同期信号18とからなっている。 水平同期信号17は感度補正の代表点3-11~3-7 9の画素に同期してパルスを発生し、垂直同期信号18 は感度補正の代表点3-11~3-79のある水平映像 期間の先頭に同期してパルスを発生する。記憶装置6は これらのパルスを水平同期信号17については1水平映 像期間毎、垂直同期信号18については1垂直映像期間 毎にカウントすることにより、現在の映像出力されてい る画素の位置を確認する。

【0012】たとえば、水平同期信号17のパルスのカウント数が1, 垂直同期信号18のパルスのカウント数が2であるとき、映像出力される画素は感度補正の代表点3-21、3-22、3-31、3-32で囲まれた領域内にあることになる。この領域内にある画素Aの感度補正データ値 $V_A$ は、たとえば次のような方法で補正する。感度補正の代表点3-21、3-22、3-31、3-32の感度補正データ値をそれぞれ $V_{21}$ 、 $V_{22}$ ,  $V_{31}$ ,  $V_{32}$ とし、図3(b)のように感度補正の代表点3-21と3-22の間隔画素数をX、感度補正の代表点3-21と3-22の間隔画素数をX、感度補正の代表点3-31と3-32の間隔画素数をY、画素 Aの感度補正の代表点3-21からの水平位置画素数を A、垂直位置画素数を A、とする。任意の2画素間の感度が線形的に変化すると、画素 A の感度補正データ  $V_A$  は

面上の感度補正代表点, (b)は(a)の一部の拡大図である。

【図4】本発明の第3の実施例の同期信号等を示す図で ある。

【図5】従来例のブロック図である。

【図6】(a), (c) はカメラレンズの断面図,

(b), (d) はマイクロレンズの断面図である。

) 【図7】固体撮像素子の感度のカメラレンズの絞り値依存性を示す図である。

【図8】固体撮像素子の感度のカメラレンズの絞り値依存性を示す図である。

【図9】従来の他の例を示すブロック図である。

#### 【符号の説明】

1 カメラレンズ

2 プリズム

3 a , 3 a b , 3 c 固体撮像素子

4a, 4b, 4c バッファアンプ

50 5a,5b,5c ゲインコントロールアンプ



(4)

特開平6-178198

5

記憶装置

6

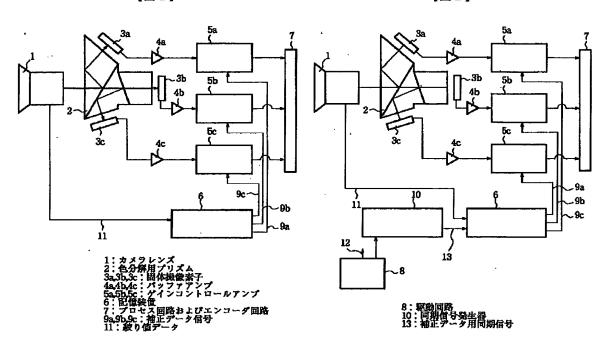
7 プロセス回路およびエンコーダ回路

\* 8 駆動回路

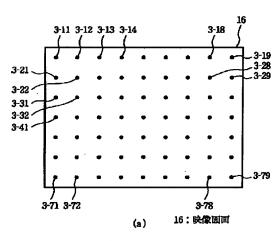
\* 10 同期信号発生器

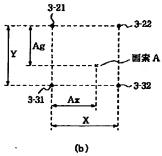
【図1】

【図2】

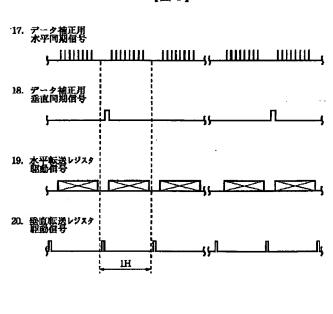


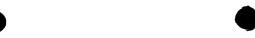
【図3】

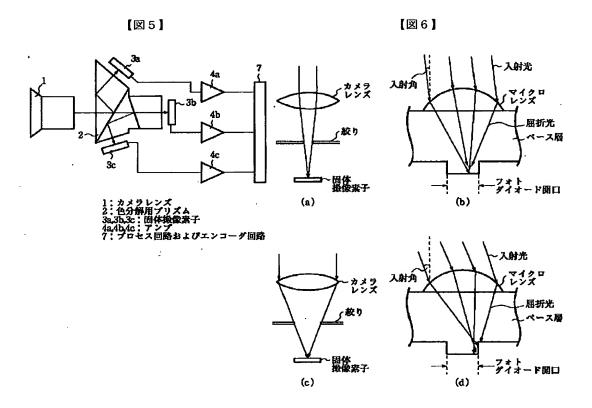


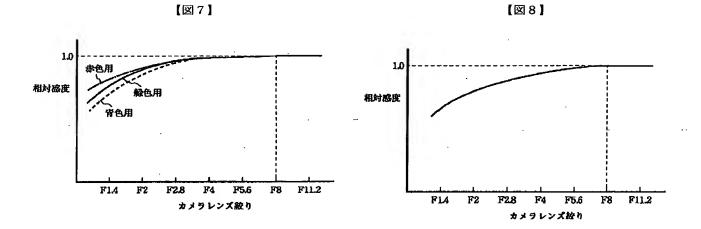


【図4】





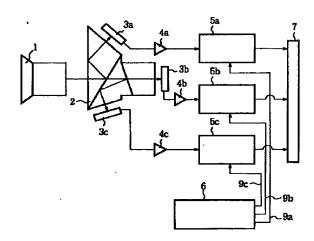








【図9】



6:配貸装置 9a,9b,9c:補正データ信号

# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

# **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☐ BLACK BORDERS
igcup image cut off at top, bottom or sides
FADED TEXT OR DRAWING
BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
□ OTHER:

# IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.